

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-7		調査位置			北緯	36° 20' 35.0000"			
発注機関	栃木県足利土木事務所				調査期間	2010-02-15 ~ 2010-02-17		東経	139° 28' 08.0000"	
調査業者名					主任技師			現場代理人	コア鑑定者	
孔口標高	40.27 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 0° 90° 0.00°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
総掘進長	6.30 m							エンジン		ポンプ

標尺	層高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日				
													深度	10cmごとの打撃回数	打撃回数	貫入量									
(m)	(m)	(m)	(m)										(m)	0	10	20	30	40	50	深度	試験名および結果	深度	試料番号	採取方法	
													(m)												
1	39.17	1.10	1.10		産雜土	暗茶			上部0.5cmまで粘性土主体 下部礫質地盤				1.15		12	12	16	40	30	40					
2					チャート (Chl)				上部45cm風化土が進む 全体に網状亀裂が発達し、粘土化している 風化は-4.5mまで進行する 粘板岩の強風化帯コアは軟岩化 コアは柱状で採取されるが 岩の強度は相当軟らかい 風化岩芯まで達する 4.6mから幾分岩質良好になる 全体的には軟岩に相当する -4.5m~-6.0mの間風化し、軟岩 チャートの強風化状態で亀裂多発 粘土化物従もなう			1.45		12	12	13	38	30	38						
3						褐灰	密な						2.15		13	12	13	38	30	38					
4													2.45												
5													3.15		21	26	1	50	21	>50					
6													3.36												
													4.15		9	11	24	44	30	44					
													4.45												
													5.15				15	42	20	>50					
													5.35		12	15	0			>50					
													6.15				16	50	15	>50					
													6.30		34	5				>50					